

表紙の説明



『デジタル VS アナログ』



『リモート VS リアル』

・あえて『アナログ×リアル』な打合せの光景。『デジタル×リモート』の流れの中で、『アナログ』の表現力と『リアル』の大切さ、そして『考える』ことの重要性を思い知らされるというのが最近の私たちの学習成果。私たちは、このデジタル・リモート・バーチャルな時代にあっても、『肌感覚』を忘れずにいたいと思います。

・図面にカメラに野帳といった出で立ちが、肩にかけたタブレット一つのスタイルに変わり、コミュニケーションもWeb会議・ビデオ通話など変わってきました。今さら紙の図面広げて、顔を突き合わせての打合せでもありませんが、『デジタル』が進むほどに、あるいは『リモート』が進むほどに、かえって現地現物でとか、顔を合わせてとか、『アナログ』や『リアル』も大事だと思わされることがあります。『デジタル』の効率と同時にこの『アナログ』も大切にしたいものです。そういう意味で、何かを語ってくれそうな写真を見つけたので表紙に使ってみました。

GIKODAN ANNOUNCE

HP <https://www.gikodan.co.jp>



Facebook <https://www.facebook.com/gikodan/>



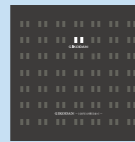
CM 『技工団CM 誇りを造る篇』



CM 『技工団CM 100年の明日まで篇』
tysテレビ山口の毎週木曜18:15~19:00
『mix』の中で30秒間流れています。



GIKODAN ~100年の明日まで~



メルマガ メールマガバックナンバー



技工団ライブラリー ▶ メールマガジン



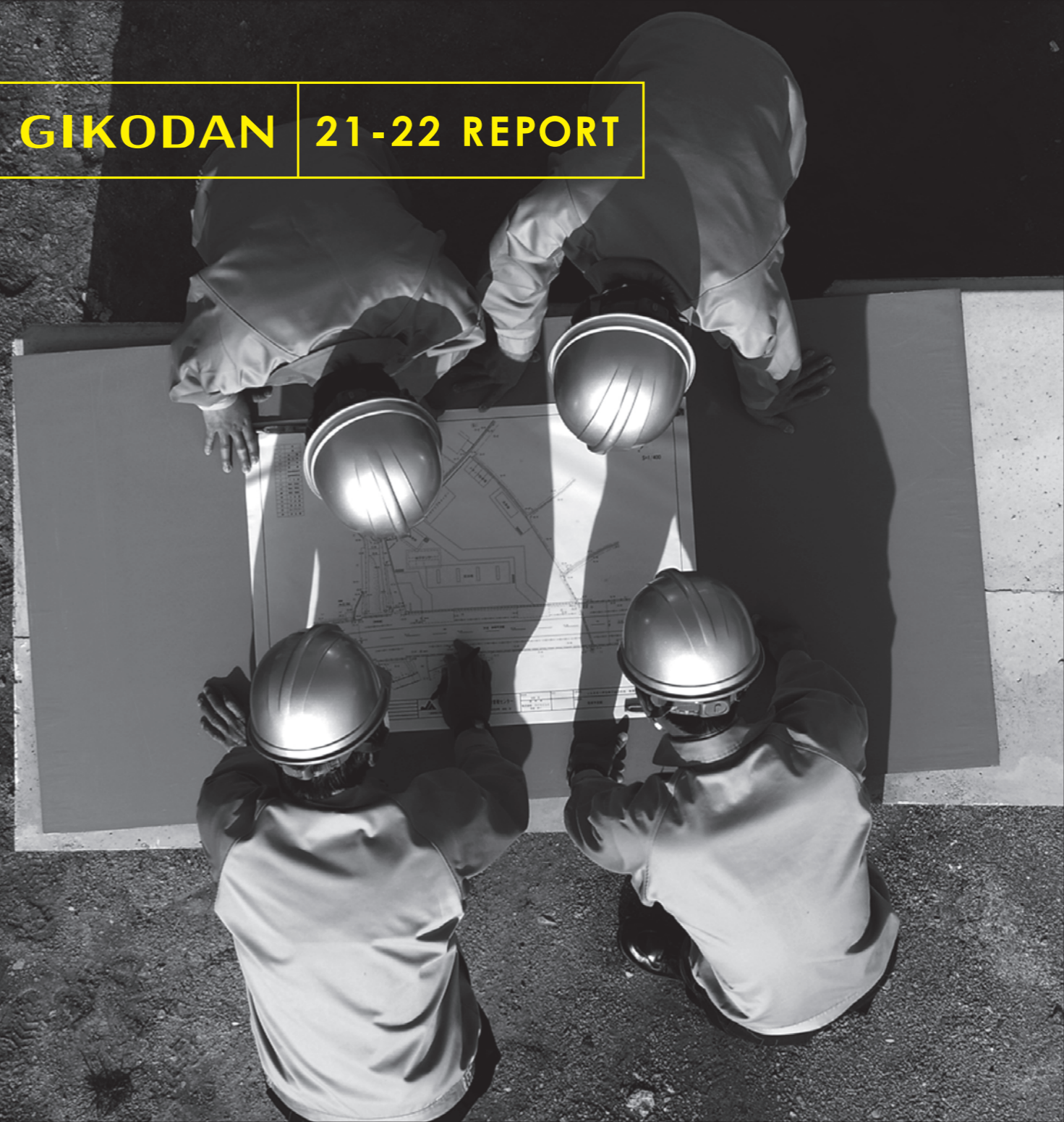
株式会社 技工団

本社：753-0078 山口県山口市緑町6番13号 TEL 083-922-2626 FAX 083-923-5355

技工団



GIKODAN 21-22 REPORT

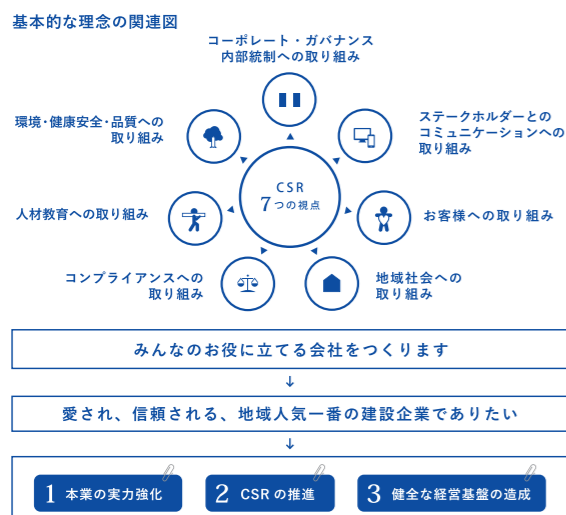


ごあいさつ

こんにちは、GIKODANです。
いつも皆様には大変お世話になっており、本当にありがとうございます。
2020年度に続き、コロナ禍の終息を見ない環境下での一年でしたが、生活にお仕事にご不安とご苦労が多かったことと拝察いたします。まだまだ感染拡大の防止と経済活動の回復という二律背反の中ではありますが、一日も早い終息を迎えられますよう、今暫くは皆様とともに最善を尽くしたいと存じます。また、ウクライナ情勢には心を痛めているところですが、こちらも一日も早く安寧を取り戻せる日が来ることを祈っています。しかし、影響は大きく、原油や木材など高騰している輸入品の価格を為替円安がさらに押し上げ、様々な物価の高騰を招いており、暫く困難な状況が続くのではないかと危惧いたしております。
さて、私たちの事業への考え方や思いを、この一年間のCSRをはじめとした活動報告により、広く皆様にお伝えすることは、とても有意義で大切な事だと考えております。この一年は①教え合い学び合う、②楽しく安心して働ける職場づくり、③戦略的に取組み続けもっと強くなる、という重点目標のもと様々なテーマに取り組み、一定の成果を上げることが出来ました。2022年度は、その計画策定にあたって、全員の『ありがたい姿』をあらためて抽出整理して目標づくりを進めました。①本業強化、②人材育成、③人材獲得、④DX推進、⑤PDCA強化、⑥働き方改革推進、⑦安心・安全・環境、⑧新体制の8項目を重点テーマに掲げて事業推進してまいります。
それでは、2021年度の活動についてお知らせいたします。最近の私たちGIKODANを少しばかりご理解いただければ幸いです。今後とも、変わらぬご高配を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

株式会社工団
代表取締役社長 佐田悦次

CSR活動・・・「お役に立てる」



GIKODAN 100年の明日まで

『生産部門統括』と『若い体制』へ

2022年度初日4月1日付けで、生産部門の各部署リーダーを思い切って若返りさせました。新しいリーダーのもとで走り出しました、とても新鮮です。そして、生産部門全体を俯瞰的に見て教育育成や組織体制強化などの改善活動をもっと強く推進させていくために統括者を置きました。『高きレベルに同化させること』と『改善のスピードアップ』を図ります。



田村 彰夫 生産部門統括

生産部門の統括を拝命しました。これからは各部署を俯瞰し最適な業務要領や教育育成システムの方向性を示すことによって、個人や各部門の方向性が明確になり属人的なやり方から脱却して組織的な指導ができる等のメリットがとれるようリードしていきます。また、各部署間で自発しながら連携を強めることにより、互いが配慮し合い業務の効率アップ、生産性の向上に寄与したいと思っております。



柿元 茂実 土木部長

このたび、4月1日付で土木部長を拝命いたしました。これからは、土木部総勢21名のリーダーとなりますこと、身の引き締まる思いです。管理職として新たなスタートを切る身となりますが、引き続き「地域人気一番の建設企業」を目指して頑張りたいと思っております。



村田 一也 建築部長

まずは人材の定着・強化が一番と考えています。お客様と最前線に対応する現場スタッフ一人ひとりを強くし、質を高めます。そして、若手へと仕事の伝承のサイクルを築き上げます。強くなってこそお客様をはじめ『みんなのお役に立てる』ことが出来ます。そして部内ではメンバー皆が『自分から考え、自分の意見をはっきり言える参加し易い雰囲気づくり』に取組みたいと思っています。



吉岡 智 鉦山部長付き

今年度より土木部から鉦山部に異動になり未だ慣れず、日々の動きを点でしか見ることができず、線で見えられてはいませんが、早く驚けて少しずつ全体が見えるようになりたいと思います。そして、みんなのお役に立てる会社づくりに貢献できるように頑張りたいと思います。

『ありがたい姿』発で
2022年度基本計画を
策定しました。
↓
もっと強くなって
『みんなのお役に立てる』
Team GIKODAN!

今年も
新顔登場

20歳代が
20%超へ!

今春は、大学新卒3名と金融機関より1名が入社しました。一時は若手が枯渇しそうな時期もありましたが、とにかく若手の確保と早期戦力化は最大の課題だと強く意識して取り組んできたところ、今春で20歳代の若手が20%を超えました、早く戦力になってくれる楽しみが増えました。



久保田 百香 大学感性デザイン工学科から建築部へ

私は建築を通して地元である山口に貢献できる人材になりたいと考え、この業界に入りました。新人の私にすぐにできることは限られていると思いますが、「みんなのお役に立てる会社をつくる」ことへ少しでも貢献できるように、これから精進してまいります。

藤岡 真大 大学建築工学科から建築部へ

『働く』とはどういうことなのか、社会人としてどのように振舞うべきか、この一年間で基礎的な知識を身に付けたいと思います。また、初めて現場に出ると分からないことが多いと思いますが、自分で調べつつ先輩方に質問をする、教わったことを記録する等、常に学ぶ姿勢を忘れずに頑張りたいと思います。

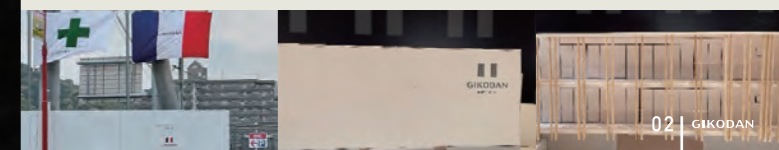
山中 孝仁 大学建築学科から建築部へ

会社の考え方の一つに『自然との調和』を大切にすることが掲げられている。美しい山口市の街並みを目にしたときに、この街とともに仕事をしたいと強く思い、この山口市で暮らしていくことを決めました。まだまだこれからの私ですが、『確かな技術』を身につけ、社会貢献ができるように精進したいと思っています。

松原 一雄 YMFから社長付(営業部・管理部担当)へ

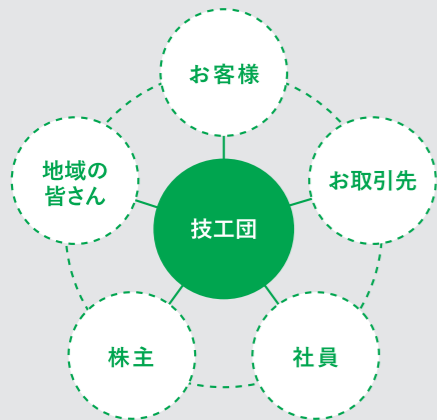
私の信条は「お客様に感謝され信頼されること」です。社の基本理念である「みんなのお役に立てる会社を作ります」は正に私の信条に通じるもので、あらゆるステークホルダーの方に愛され、信頼される会社を目指して精進していきたいと気持ちを新たにしているところです。名実ともに地域人気一番の建設企業になれるよう、これまでの経験を活かしながら業務に邁進していきたいと思っております。

そして、少し新山ロシフト
『新山口サテライトオフィス』着工、2022年9月竣工。
ちょっとワクワクします。



経営理念～事業に取り組むうえでの基本的な考え方 みんなの『お役に立てる』会社をつくりま

建設という仕事は、元々あらゆる産業のお手伝い役のような仕事です。ですから何処までも様々な人々のお役に立てることを良しとする会社であり続けることが出来るよう追求していきます。ここでいう『みんな』とはお客様だけでなくステークホルダーのすべて～お客様・お取引先様・社員の皆さん・株主の方々・地域の皆さんなど、すべてのステークホルダーのお役に立てることを追求します。



- ・お客様へは、良い製品・サービス・情報などを提供すると同時に、『良い関係』を永く持続させることに努め、何かを計画したり問題が起こったり、いざという時のパートナー・相談相手になりたいと考えています。
- ・お取引先様へは、仕事の機会を提供し、協働していく中で互いに成長していくことができます。また安全で働きやすい環境を提供します。
- ・社員の皆さんへは、仕事を通して業務スキルや社会性を身につけていく人づくりの場を提供すると同時に、健康・安全・やりがいなどを保持しながら、働きやすい環境の中で、ともに協力して付加価値・収益を生み出し、応分の分配を受けることができます。
- ・株主の方々へは、事業の持続と収益確保により、配当を可能とし企業価値を向上させることで貢献します。
- ・地域の皆さんへは、建設生産活動を通して地域に仕事や生活のための豊かなインフラを残すことができますし、近年酷くなってきた地震・台風・豪雨などの災害対応も大切な任務と心得て、いつでもすぐ近くにおいてお手伝いいたします。また地域において雇用機会や購買の機会などを提供できますし、企業市民として地域活動への参加にも努めます。

【ビジョン～ありたい姿】

愛され、信頼される地域人気一番の建設企業でありたい



○ コーポレート・ガバナンス・内部統制について

当社では・・・

企業のありたい姿を実現するためにコーポレート・ガバナンス・内部統制の仕組み構築を進めてきました。当社は、土木・建築・鉱山の三事業から構成されており、これらの事業もそれぞれ、地域のお客様、地域のお取引先様、地域に暮らす社員の方々に密着して展開しているため、地域社会との関わりが極めて重要です。したがって、地域社会に向けて私たちの考え方や行動、お役に立てる姿などについて、平時よりお伝えし理解していただくことや、地域社会から求められる姿をコミットしておくことが大事なスタンスです。こうして理解や好感を得ておくことにより、自らの持続性強化や企業価値向上の機会が期待できます。そのため、地域社会から愛され、信頼され、必要とされる企業であり続けていくためには、コーポレート・ガバナンスや内部統制の重要性やその中身としての企業理念や方針・組織体系・会議体系・規程体系などにつき、まずはしっかり構築し、それらを全ての社員がしっかり理解して、常日頃より自律的に実践することが期待されます。

当社の課題・・・

当社では、会社の発展にともない、部門特性に応じた部門管理体制を少しずつ構築してきました。しかし、その上位にあるべき企業理念や企業としてのありたい姿などの基本的な考え方が必ずしもしっかり示されていなかったり、その実現に向けた統治・統制する仕組みが十分には示されていなかったために、少し全社と各部そしてひとり一人に手応えを感じ取りにくかったり、自律的に動けなかったり、自分の思いとのギャップを感じるがありました。改善を進めてきたつもりではありますが、まだまだ十分にできているとは言えず、再構築していく必要があります。また、今後も変化し多様化していく社会ニーズに答え、企業を持続させていくためには、変化に対しても変幻自在に進化できることが必要で、様々な視点から全社～部門～各人に無理のない組織体系・会議体系・規程体系やその周辺の仕組みであり続ける必要があります。まずは考え方・仕組みを文書化し、それを定期的に見直しているところです。



75周年事業を報告

① 山口市へ協賛会と一緒に コロナ対策費として75万円寄付



② 景観支援活動

- ・山口駅通りの路地景観改善検討のためエリアのモケイ寄贈
- ・湯田温泉街景観のランドマークである松田屋ホテルさんに横門『ケヤキ門』を寄贈
- ・新山口サテライトオフィス整備
- ・日本ではじめてクリスマスミサが行われた山口市にちなんで、本社オフィス前にXmasイルミネーションを設置



③ 『創業75周年感謝の集い』



④ 『新山口オフィス』設置→『新山口サテライトオフィス』建設着工へ

KDDI 維新ホールMegribaコワーキングスペースに新山口オフィスを設置、あらためて山口県中部のハブとして成長していく『新山口』に拠点を置いて色々試してみました。その結果、この『場』をハブに、もっと色々な出会いの可能性や、もっと便利にリモートワークできる可能性、もっと何でもコラボレーションできる可能性も想定できますので、企画していた『新山口サテライトオフィス』をやはり造ってみることにしました。場所は長谷ICアクセスロードと国道9号の交差点、新たなJR新山口駅への入口のランドマークとしての貢献とともに、私たちGIKODANのアイデンティティを示すシンボル塔として期待しています。



2021.04

角力場トンネル工事竣工



角力場トンネル工事、3月30日に無事に竣工しました。工事期間約2年、様々な体験をする事が出来た。供用開始になり通行するのを楽しみにしています。

山口コーポレーション作業所新築工事



内部工事も進み、4月末の段階で、床シート張りまで施工完了しました。間仕切り等の一切ない14m×30mの空間は想像以上に広さを感じます。残りの工事も、お客様との定例打ち合わせを通してお客様が真に求めているかを実現できるように進めていきたいと思います。

新年度鮎区担当者の発表会



さて、新年度の幕開けとなりました。新年一発目の勉強会は各鮎区の担当者ごとに、今年自分に課せられた課題と目標について語る頂きました。まず自分のエリアで自分はどうな仕事をしてほしいとしているのかを、うまく他人に説明することが第一の目的でした。その説明ルートの中で他の担当者から指摘や別のプランなどが飛び交い、有意義な勉強会になりました。他人と目標を共有する事で、今まで見えなかったモノも見えてきました。今後もこの担当者発表会を継続していこうと思います。ご安全に!

2021.07

マーケティングを意識して



7月12日から鉄骨工事、16日から外部足場建方が始まりました。入社して2年目初めての鉄骨工事で、分からないこと、覚えることがたくさんあります。鉄骨建方が始まり、クレーンやギヤの安全行動を確認しながら、マーケティングとブランディングを意識して、お客様や協力会社の方々から見た時の現場の印象を考慮するようにしています。今後も猛暑日が続きますが、熱中症に十分気を付け安全・健康第一で作業を進めて行きたいと思えます。

メッシュに感心



安全折戻が行われ、初めて紅白幕のメッシュパーションにお会いしました。言われて初めてメッシュと気が付きましたが、どおりで風が通って心地よかったです。新しいモノに感心しながら、メッシュパーションに感心しながら、普段は着ない私のスーツがパンパンだったこともあり、風が通らないところでの暑さを十分感じたので、そろそろ私のスーツもバージョンアップしようと思います。

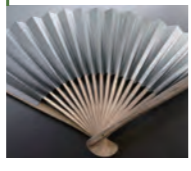
2021.05

令和2年度木と西第3改良工事 屋外で工程会議開催



当現場での安全協議会パトロール後、屋外での工程会議が行われました。なかなか屋外で会議をするということはありませんが、このご時世ですのぞ致し方ありません。周囲の音や風で、しかもマスクを着用したままなので、喋りづらかったり、聞き取り難いのは?と心配をしていましたが、皆さん大きな声で説明され、上手かったと思います。早くこの状況が収まることを願うばかりです。

1946年創業から75周年を迎えました



1946年の創業より75周年を迎えました。この間、多くの皆様方に温かいご愛顧を賜り、またご支援ご協力をいただきました。これからの時代に流れとともにある社会からの要請に応えていく姿勢を続けてまいります。『みんなの役に立てる会社をつくります』という基本理念を掲げ、『愛され信頼される地域人気一番の建設企業』を目指します。

『指差呼称』で無災害



現在、鮎区では『指差呼称』定着を目指しています。指差呼称とは、目で見て、対象物を指差し、声に出して確認することを言い、間違いが約1/6に減ると科学的に立証されています。オイルの残量確認、車止め設置の確認、一旦停止後の左右前方の安全確認等、自分たちがやり易い小さなことから始め、現在は作業区分ごとに3つの項目を挙げ、指差呼称を定着させてゼロ災害を目指しています。

2021.06

木と防災遠根川橋下部外工事



現在、遠根川下部工では函渠の床掘りや橋台の場所打ち杭を行っております。いよいよ工事本格格的に開始しました。今はまだ函渠と場所打ち杭1箇所の施工ですが、もうすぐ函渠、橋台2箇所の3箇所同時施工となり、どんどん忙しくなります。この工事ではCIM、遠隔臨場、配筋検査の電子マーカーの利用と新しいことにもチャレンジするので、初めは不慣れによる戸惑い等あると思いますが、試行錯誤しながら今後につなげていきたいです。

奈古の菖蒲・・・木と第3改良工事



事務所の脇の畑で今ハナショブが見頃です。春先地元の方がこまめに草刈りをされていたが、こんなに素晴らしい景色になるとは想像できませんでした。最近では、見学に来られる方もいらっしゃる。先日の山口新聞に掲載されたみたいで、結構有名みたいで。現場にいられた際はこちらも覗いて見られたらいいと思います。

2021.10

山陽小野田市内現場スタート



10月になりましたが、日中は暑い日が続きます。8月初旬から準備工事として水路加工を行っていましたが、建築工事に着手できる状態まで整い、山陽小野田市内に技工団の社旗を掲げることが出来ました。8月に準備工事を着手した際には、建築工事着手時にはもう少し暑さが和らいでいるかと期待していましたが、日中はまだまだ汗がしたります。工事完了は暑さが気になってくる来年の夏です。建物をお引渡しする際に、お客様に喜んでいただけますよう、これから9か月間全力を尽くしてまいります。

半年後には新入社員が



10月1日、2022年4月入社予定者の内定式が本日で開催されました。内定者の建築部配属予定者3名を紹介いたします。写真左から、久保田さん(山口出身)・藤岡さん(岩国市出身)・山中さん(尾道市出身)3人とも、「技工団で施工管理をやりたい」「育成プログラムに魅力を感じる」など、当社への期待感が溢れています。さあ、20歳代の先輩社員のみならず、彼ら3人が憧れ、尊敬できる「ありがたい(先輩)姿」になっていきますか?良い先輩になることを期待しています。

2021.11

中国電力火技センター実習棟竣工



宇部市にある中国電力の旧火力発電所技術センターで、研修施設を建設しています。既設の構造体を撤去後、実習施設2棟を新築する工事で、その大きさは、各300坪程、合計625坪の大型施設です。約1年の工事で、検査を経て仮引き渡しを行いました。この施設では、発電設備のCADモデルや、データの取れる実習設備、運転操作シミュレータを活用した運転技術・保守管理技術研修が実施されます。大空間の施設ですが、今から実習設備の搬入・据え付けが行われると、「ミニ発電所」ができ、日本内外技術者がレベルアップのために研修を受けます。我々の生活を支える電気、安定供給に向けて技術研鑽される姿が目にかびます。

クリスマスにちょっと飾



「12月1日、山口市はクリスマス市になる」というから、ここは景観協力ということで、ちょっとイルミネーションで協調してみました。どうですかね...

近所のコスモス畑



10月の休日に、近所にある花の海に行ってきました。目当てはコスモスです。毎年コスモスを見るのが秋の楽しみを感じます。天気も絵に描いたような秋晴れで良い写真が撮れました。それにしても最近のスマホは画質が良いと感じます。写真の撮り方が上手くなった気持ちに少しもええ。次回の休日は紅葉を撮影できたらと思います。

2021.12

内部完成



7月初旬からの建方が始まりウッドショックや長雨との戦いの中、新しい診療所が完成しました。写真は受付と待合室です。間接照明が受付と廊下で使用され柔らかい感じになっています。床やカウンターが濃い木調で仕上がっていて、落ち着いた雰囲気が出ています。これから、既設診療所の解体工事・外構工事完了で完成になります。

平瀬ダム地滑り防止工事



平瀬ダム地滑り防止工事、現在の状況写真です。11月末に法面部の植生基材吹付作業が完了。現在、仮設構造物の解体撤去作業を行っています。2021年もあと10日余り、最近一段と寒さが厳しくなり仮設構造物上は凍結・・・日々塩カルを散布しています。また、構造物上の解体作業は墜落、転落災害が発生する可能性が高く日々の安全管理をしっかり行い、明るい正月を迎えられるように安全第一で頑張っています。

2022年度キックオフ!

2022年4月1日に全社全員が集めて勢を上げたキックオフ・ミーティング、新型コロナウイルスCOVID-19感染拡大防止のため、今年度はWeb会議で本社・鉱山部・各作業所を繋げて開催。



2022年度全社重点目標

1 本業強化

『強くなってみんなのお役に立てる会社になりたい』

2 人材育成

『教えあい、学び合う』

3 人材獲得

『次世代構築』

4 DX推進

『DX・イノベーションで生産性を向上』

5 PDCA強化

『わからないを放置しない・どうしたら出来るか考える』

6 働き方改革推進

『楽しく安心して働ける職場づくり』

7 安心・安全・環境

『無事故・無災害』

8 新体制

『課題解決、高きレベルに同化でスピードアップ』

guest message



中国電力株式会社
管財部門(水カ・火力建築グループ)兼 電源事業本部(水カ・火力建築グループ)
マネージャー 小田 達之 様

「GKODAN REPORT 21-22」発行おめでとうございます。
この度、宇部市の当社火力発電技術センター構内において、電気実習棟ならびに機械実習棟を建設して頂きました。この両実習棟では、火力発電所の維持・管理・運営をするために必要な知識および様々な発電機器の分解・点検に関する技能を習得するため、研修および実習を行う当社としても重要な施設であり、社内外の技術者を広く受け入れています。この両実習棟の建設に際し、特に注意すべき点は「工事現場に近隣する既存研修施設において研修を実施しており、著しい騒音・振動による研修への影響を最小限に抑える」ことであります。この点を解決すべく、技工団担当者様から「関係者との協議・調整が重要であり、毎月2回程度工程会議を実施し、関係者間で情報共有を図りたい」との申し出を頂きました。この工程会議において、今後の工事予定や騒音の有無等、分かり易く丁寧な説明を実施頂くことにより、現場工事完了まで一度も苦情もありませんでした。また、地中障害物による杭工事の遅延等が発生しましたが、適切な工程管理を行って頂いたおかげで、当初予定どおりの工期内で工事完了となりました。最後になりますが、徹底した安全・品質管理および技工団様のチームワークにより、100点の仕上がり、また、無事故無災害で竣工頂き、誠にありがとうございました。技工団様が益々発展されることをお祈り致します。



山口大学生協同組合
専務理事 中井 傑 様

2019年10月、山口大学吉田キャンパスのちょうど中心に誕生した「福利厚生施設FAVO」はその後、新しいコミュニティスペースとして皆さんに様々な活用を頂き、いつも活気にあふれています。そうしたキャンパス内の新しいシンボルが生まれたのも、技工団様とお仕事させていただいたからこそだと思います。建設中は定例打合せ実施いただけたことで、都度こちらの要望も反映することができました。またキャンパスの真ん中ということもあり、授業に支障をきたさないようにする必要がありましたが、定例打合せのおかげで学内調整もスムーズに行え、予定通りのオープンを迎えることができました。技工団様の調整がなければ、かなり難しい案件だったのではないかと当時を振り返ると強く思います。オープン後もいつも気にかけてくださり、何かあればすぐにご相談にのっていただけたこと、おかげで安心して運営が行えています。皆さまの日々の誠実なご対応も含め、一緒にお仕事できたこと、新しい施設を創り上げたことをとても幸せに感じています。…そう思っておりましたら、なんと山口県立大学にて生協設立に伴い、大学で新設された福利厚生施設の建設で再び一緒にお仕事できることに！素敵なご縁を感じました。おかげさまでこちらもオープンに向けてスムーズに進めることができました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。山口大生協でも県立大生協でも長い付き合いをさせて頂ければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



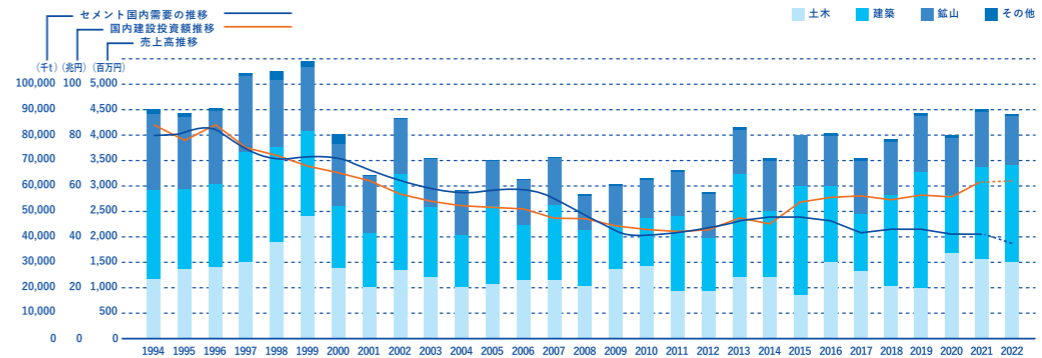
技工団労働災害防止協会副会長
株式会社長州興業 社長 福島 哲也 様

いつもお世話になっております。
技工団様におかれましては、平素より継続できる会社を作るために、各部署リーダーの若返り、若手技術者の採用と教育をはじめとした、次世代を担うひとづくりを大切にされているのを目の当たりにさせていただいております。ほぼ毎年コンスタントに若手技術者を採用され、彼らが現場で活躍し、成長する様を目にするのが協会の会員企業の一員としてとても嬉しく、そしてうれしく感じております。どの業界、どの企業様においても若年者の育成は重要で、とても難しい経営課題です。若手技術者の育成カリキュラムの構築をし、毎年その中身をブラッシュアップしているとうかがっております。その中で、確かな成長は自信につながり、次なる成長の糧や働き甲斐に繋がると考えております。また、入社後3年経過後0の継続、社員年齢構成比で20歳代が2割を超えたのは、魅力的な企業づくりを実践され、人を育成できる企業を目指し続けているからだと思います。これから先も取り組まれるモノづくり、ひとづくりの一助となりますよう、私どもも協会の会員企業として頑張っております。最後に皆様の健康と安全、技工団様の益々の発展をお祈りいたします。

会社概要

社名	株式会社 技工団	事業内容	[土木部] 土木工事の設計・施工・維持管理 道路、トンネル、橋梁、ダム、上下水道、宅地造成、鉄道、景観整備、公園、共同溝、ソーラー設備、地盤改良工事など [建築部] 建築工事の設計・施工・維持管理 オフィスビル、店舗、医療・福祉施設、集合住宅、戸建住宅、学校、スポーツ施設、その他施設など [鉱山部] 石灰石鉱山の採掘・積込・選搬・関連工事など UBE 三菱セメント伊佐鉱山、太平洋セメント重安鉱山、UBE 三菱セメント河田鉱山 [その他] 不動産賃貸、その他			
本社所在地	753-0078 山口県山口市緑町6番13号	技術資格者	技術士(建設部門)	1名	一級舗装施工管理技術者	4名
創業	1946年5月5日	技術士補(建設部門)	2名	屋外広告士	1名	
会社設立	1948年3月5日	コンクリート診断士	3名	推進工事技士	9名	
代表取締役社長	作間 悦次	MEメンテナンスエキスパート	2名	乙種上級保安技術職員	3名	
許可・登録など	建設業許可 山口県知事許可(特-1)第22382号 一級建築士事務所登録 山口県知事登録M第344号 品質マネジメントシステム ISO9001:MSA-QS-1186 環境マネジメントシステム ISO14001:MSA-ES-724 労働安全衛生マネジメントシステム ISO45001:MSA-SS-61 地域建設業のBCP事業継続計画 国土交通省中国地方整備局長認定 第(4)R3-073号 産業廃棄物処理業許可(収集・運搬) 第03505105686号 山口県屋外広告業登録 山口県知事第365号	一級土木施工管理技士	31名	鉱山露天採掘保安管理士	11名	
		一級建設機械施工管理技士	6名	甲種火災損取扱保安責任者	40名	
		一級建築士	8名	公害防止管理者	3名	
		一級建築施工管理技士	9名	宅地建物取引士	1名	
		一級管工事施工管理技士	1名	一級建設業経理士	1名	
		一級造園工事施工管理技士	5名			
主要取引先	国土交通省・日本下水道事業団・防衛省・法務省・農林水産省・山口大学・NEXCO西日本 JR西日本・JA・山口県・山口市・UBE・太平洋セメント・プリチストン・コマツ・中国電力 ほか民間企業・団体・個人					
表彰	国土交通大臣表彰(優良公共建築) 国土交通省中国地方整備局長表彰(優良工事) 国土交通省中国地方整備局山口市河川国道事務所長表彰(優良工事) 山口県知事表彰(優良工事) JIA日本建築家協会長表彰(25年賞)					

■売上高の推移・国内建設投資額の推移・セメント国内需要の推移



■事業所等

- 本社
山口市緑町6番13号(ドコモ山口市ビル隣り)
 - 鉱山部
美祿市伊佐町伊佐(宇部興産伊佐工場内)
 - 平川資材センター
山口市黒川2269番地(NAP隣り)
 - 泉都町ハイツ
山口市泉都町10番21号(湯田交番裏手)
 - 新山口オフィス
山口市小郡令和1丁目1番地1号
(JR新山口駅北口KDDI翻新ホールMegriba)
 - 新山口サテライトオフィス(建設中)
山口市小郡長谷1丁目
- (2022年4月現在)